

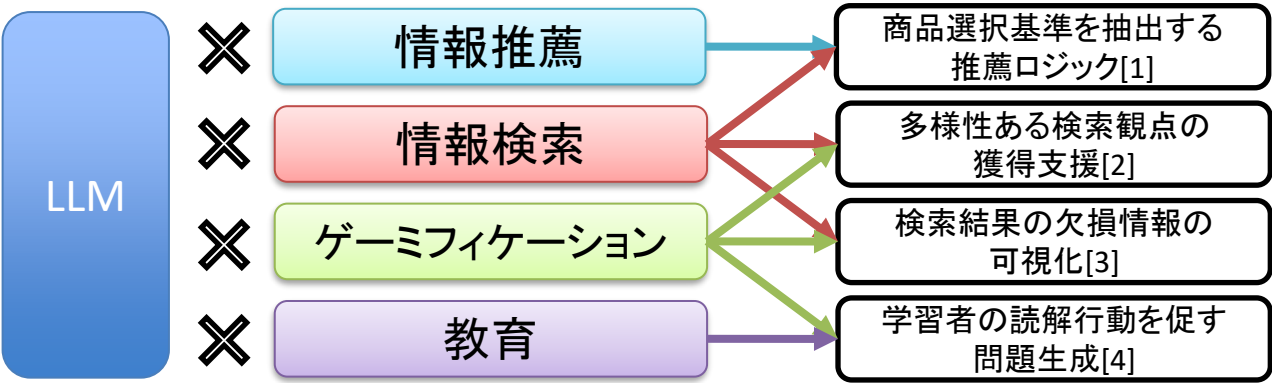
コンテンツの受容性を高めるための 文書生成AIを用いた情報検索・推薦基盤

北山 大輔 情報学部 情報科学科 准教授

キーワード：大規模言語モデル、ゲーミフィケーション、ユーザモデル

概要 近年、Web 検索や情報推薦において、大規模言語モデル（Large Language Models: LLM）が生成する文書を活用した新たな情報行動支援が求められている。本研究グループでは、ユーザが多様な観点から情報を収集し、内容を正しく理解し、自身に適した選択を行えるように支援する「文書生成AIを活用した情報検索・推薦基盤」の構築を目指して研究を進めている。具体的には「多様性ある検索観点の獲得支援」「検索結果の欠損情報の可視化」「学習者の読解行動を促す問題生成」「商品選択基準を抽出する推薦ロジック」などの観点から、情報の“見落とし”を減らし、ユーザがより高い受容性をもって情報にアクセスできるための仕組みを研究している。

アピールポイント LLMと様々な技術分野や対象データをかけ合わせることで、情報の見落としの減少や、情報に対するユーザの受容性向上を図る仕組みを生み出している。



利用・用途 応用分野 本シーズは「ユーザが情報をより多様に・正確に・深く受容できる環境を作る」ための基盤技術であり、以下の応用が期待できる。

- Webコンテンツのパーソナライズド検索エンジン・推薦システム
- オンライン教材・学習システムでの学習効果の向上機能の提供
- ECサイトにおける購買支援
- 組織内情報の効果的な検索・ナレッジマネジメント
- 情報探索におけるユーザが“見落としやすい観点”を補完する説明生成

大規模言語モデルを基盤としながら、人間の情報行動特性に寄り添ったインタフェースを設計することで、より高い受容性をもつ情報アクセス環境を提供することを目標としている。

関連情報 ● 関連論文

[1]日高蒼介, 北山大輔, 大規模言語モデルを用いた疑似比較商品群に対する商品選択基準抽出に基づく購買予測手法: 情報処理学会研究報告(DBS), 巻 2025-DBS-181, 号 8, p.1-5, 2025

[2]樋口寛之, 猪股果梨, 堀川達平, 北山大輔, 多様性のある情報収集のためのトピック当てゲームに対するゲーム性の変更とその評価, DEIM2025, 1H-02, 2025

[3]川本唯人, 堀川達平, 北山大輔, 大規模言語モデルを用いた検索結果の欠損トピックの可視化とその評価, Webインテリジェンスとインタラクション研究会 予稿集, 20 巻, p.99-104, 2024

[4]佐藤寿樹, 北山大輔, 問題解説文に対する空所補充問題の生成による読解力向上の評価, DEIM2025, 4H-02, 2025

● 関連 URL = インタラクティブメディア研究室: https://www.ns.kogakuin.ac.jp/kitayama_lab/